

## 常行堂

常行堂は、金堂円隆寺の東にあります。1597年に元の御堂が火災で失われ、1732年に現在の位置に再建されました。

ここには、浄土仏教の主仏である阿弥陀如来と、天台宗の守護神・摩多羅神の像があります。伝説によると摩多羅神は、慈覚大師が中国へ旅した際に現れた神とされています。摩多羅神の像は、室町時代(1336 - 1573)に常行堂に祀られたといわれており、33年に一度開帳されます。

毎年1月14日から20日に、摩多羅神の祭礼が行われます。ここでは、重要な仏教儀式である舞踊、「延年の舞」が奉納されます。仏と寺を讃えるという目的で、800年以上にわたって行われてきました。

歴史的、文化的、宗教的に重要な意味をもつため、「延年の舞」は国の重要無形民俗文化財に指定されています。